

項目	意見	回答
<b>第1部第1章 一般廃棄物処理基本計画の策定にあたって</b>		
1	基本指標をベースにPDCAサイクル達成状況をチェックする仕組みがいいと思う。	区では清掃リサイクル事業の進捗状況をPDCAサイクルでチェックし、ホームページを通じて区民に報告しています。
<b>第1部第2章 江東区とごみの歴史</b>		
2	江東区のごみ戦争の歴史等も区民にアピールし、より分別の意識を広げるきっかけになればと感じる。	江東区と清掃事業の深い関わりを第1部第2章「江東区とごみの歴史」において記述することで事実の風化を防いでいます。これまで区として負担の公平に向けて多大な努力を払ってまいりました。引き続き、清掃負担の公平が進展するよう各区にごみの減量化とリサイクルの推進を働きかけてまいります。
<b>第2部第1章 基本的な考え方</b>		
<b>基本方針</b>		
3	「5R」コンセプトはとても良い。施策を具体的に記載している点も良いと思う。	ご意見ありがとうございます。引き続き清掃リサイクル事業にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。
<b>スローガン</b>		
4	埋立処分場の延命の課題に対して、まさしくスローガンを各自認識する必要があるし、適切なスローガンである。	スローガンにご賛同いただきありがとうございます。引き続き清掃リサイクル事業へのご協力をお願いいたします。
<b>区民行動</b>		
5	食品ロスの削減には、具体的な方策が必要だと思う。	区では、「食べきり協力店」の登録、フードドライブの実施など、具体的な取り組みを行っています。今後も、食品ロス削減のためにさらなる施策を検討してまいります。
6	大量買いしない	ごみ減量のためには、必要なものを必要な量だけ購入することが重要です。
7	もっと住民に分別する習慣をつけてもらう必要がある。	区民に分別へのご協力をいただけるよう、わかりやすい普及啓発を進めてまいります。
8	江東区も、ごみ拾いとジョギングを兼ねたプロギングを取り入れ、町内で定期的なごみ拾いを行う。	プロギングをはじめ、さまざまな手法を活用した美化活動に関して、区のHP等で広く周知に努めます。
<b>事業系ごみ</b>		
9	事業ごみのクリアファイル減少化	クリアファイルに限らず、無駄なものは減らしていく取り組みが必要です。
<b>拡大生産者責任</b>		
10	産業界全体で、プラ容器の紙ラベルをはがしやすい接着剤を使用するようにしてほしい。	製造事業者や販売事業者の取り組みにより、以前に比べるとシールは剥がしやすくなっていますが、まだまだ、剥がしにくいものがあるのも事実です。シールを剥がすことはプラスチックリサイクルの基本ですので、剥がしやすいシールの使用を製造事業者や販売事業者に働きかけてまいります。
11	スーパーの肉・魚売場での容器を袋へ	区内の販売店に対して、過剰包装の抑制を求めてまいります。
12	5R等を消費者だけに求めるよりも、ごみを生産する側の企業も努力すべき。ペットボトルのラベル廃止、商店のデジタルPOP化、過剰包装の廃止等。企業から発信して消費者、国民の意識を変えるべき。	計画の基本理念である「持続可能な資源循環型地域社会の形成」を実現するためには、区民の努力だけでなく、製品を製造し、販売する事業者の努力も必要です。区は、製造・販売事業者に対して、ごみにならない製品の工夫、リサイクルしやすい製品の工夫、販売したものの回収を求めてまいります。
13	特に家庭から排出される食品プラスチックトレーに着目すべき。分別と清掃の徹底。販売業者側の使用方法の改善(値札、項目シールの容易な除去方法)によって、マテリアルリサイクル率の向上を図るべき。	
14	青果販売店等の供給側のビニール使用を制限する。	
15	消費者は即ごみになる物を買わされている。施策にあるように事業者への働きかけにつきて思う。	
16	ラベルのはがし易さは商品提供者の義務とする。	
<b>人材活用</b>		
17	リサイクル課だけで行うのではなく、他課などとも連携して未来につなげてほしい。	例えば、環境教育については教育委員会事務局、発泡トレイ・発泡スチロールの分別回収については福祉部門と連携するなど、横断的な取り組みを進めています。
<b>普及啓発</b>		
18	情報共有については、インターネット、スマホなどを利用してはいかがでしょうか。	区では、ホームページや「資源・ごみ分別アプリ」にてリサイクルに関する情報を随時発信しています。区民のライフスタイルはさまざまであり、利用する情報媒体も、個々人によって異なりますので、区では多様な媒体を用いた普及啓発に努めてまいります。
19	多くの人に何が再生可能なのか、正しい排出方法、正しい排出場所を周知することが必要である。	
20	「家庭用のごみ分別/出し方のパンフレット」の再発行を希望する。特に「プラスチック製の物の扱い」が知りたい。せっかく分別してあっても正しくない混入物があり、「燃やすごみ」として出すことになる場合がある。平成28年当時より皆さんの意識が高まっている。	「家庭用資源・ごみ分け方・出し方」のパンフレットは毎年微修正をしておりますが、平成28年度版を全戸配布して以降は資源・ごみの分別に大きな変更はございません。同パンフレットは区役所や出張所に配架しておりますので、そちらで取得いただくことが可能です。
21	「家庭ごみの分別ルール」をもう少しシンプルにしてほしい。	以前に比べて分別が細かくなっていますが、現在の分別区分はリサイクルを進めていくためには必要不可欠な分別区分です。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。
22	「資源回収・ごみ収集日一覧表」「江東区資源・ごみの分け方・出し方」のポスターをもっと字を大きくして見やすくしてほしい。	印刷物は、出来るだけ多くの人にわかりやすいようイラストの使用や色分けなどの工夫をしています。今後も引き続き、区民に読みやすく理解しやすい冊子にしていくよう努めてまいります。

23	えこつくる江東に1度行ってみたい。働いている人も行けるようにして欲しい。	えこつくる江東の休館日は、毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)と年末年始です。開館時間は、9時から17時(常設展示室は9時30分から17時)、入館は16時30分までとなっております。是非ご来館ください。
24	紙等のリサイクル可能な物の分別が周知徹底されていないと感じる。	紙類の中でも、新聞、雑誌、ダンボールなど分別のわかりやすいものはリサイクルが進んでいますが、包装紙や紙箱、投げ込みチラシなどの、いわゆる「雑がみ」のリサイクルは進んでいません。雑がみの分別がわかりやすくなるような普及啓発に努めてまいります。
25	区報で知らせてくれる日にち以外にも小学校で古着回収をやっていた。きちんと情報を教えてほしい。	区が実施する古着回収については、区報・ホームページ・「資源・ごみ分別アプリ」でお知らせしております。この他、PTAや自治会等が独自で古着回収を実施している場合がありますが、区では関知しておりませんのでご了承ください。
26	若い人をもっと動員して、海外の運動のように少しおしゃれなムーブメントを江東区から発信するのはどうか。	具体的なアイデアありがとうございます。区民のライフスタイルはさまざまであり、利用する情報媒体も、個々人によって異なりますので、区では多様な媒体を用いた普及啓発に努めてまいります。
27	分別の認識がまだまだ出ていない。ピクトグラムや江東区のキャラクター(ゆるかわなど)の図解にて、ごみ分別の啓発ポスターや広告を出すのも良いのではないかと(楽しく分別をする意味で)。	具体的なアイデアありがとうございます。清掃リサイクル事業の状況を可視化して、区民にお伝えしてまいります。
28	「地球を守る、未来を変える」との形をどのように可視化していくのか。特にごみの埋立地が有限であると、その期間があと何年かという点を想定し、年1回区報へ記載してみてもどうか。	具体的なアイデアありがとうございます。清掃リサイクル事業の状況を可視化して、区民にお伝えしてまいります。
29	分別に悩むものがある(スチールと紙が一体化したごみ等)。どう捨てれば良いか広報すべき。	区では、「江東区資源・ごみの分け方・出し方」、「資源・ごみ分別アプリ」などにより分別方法をご案内しています。しかし、複合素材などわかりにくいものもあるため、清掃リサイクル課までお問い合わせください。
30	再利用できるものは、ごみを出す所からまずは改善する必要がある。地域住民だけでなく、学校教育からも伝えることで、区内で徹底し、5Rの理解を促して欲しい。	区では、清掃事業や環境教育に関する副読本を作成・活用するなど、子どもに対する環境教育を実施しています。引き続き、子どもたちが課題意識をもって取り組めるような環境教育の実施に努めてまいります。
31	プラスチックをリサイクルできるようにしてほしい。そのための啓蒙を区が行う必要がある。	区では容器包装プラスチックの分別収集を行ってリサイクルしています。また、発泡トレイ・発泡スチロールは、エコミラ江東でペレット化しています。ご協力よろしくお願ひいたします。
32	本案は第2章が肝心。本来の目標は、各区、全国同様だが、江東区が制定する意味というのがここにあることを新住民にも知らせるべき。	ご意見ありがとうございます。ご指摘の情報をお伝えするため第1部第2章を詳細に記載しています。
33	食品パッケージのプラごみを減らす方法があれば、HPで紹介してほしい。	ご意見ありがとうございます。今後の普及啓発施策の参考といたします。
34	宅配の箱を燃える日に出す人がいるので、回収しないでほしい。	公衆衛生や防火の観点から燃やすごみ収集日に出された可燃物はやむなく収集しておりますが、ホームページやパンフレット、アプリ等で資源回収に関する啓発を実施してまいります。
35	ごみを出さない、増やさないことは、地球にやさしいだけでなく、私達の生活態度を改める良いきっかけになる。今後の廃棄物処理計画の発展のためには、呼びかけ、呼びかけ方が大事である。	ご指摘ありがとうございます。ごみ減量には、区民・事業者のご協力なしには進みません。引き続き、区民・事業者にとってわかりやすい情報を発信してまいります。
36	ごみでできる科学授業	ご指摘の考えも踏まえ、有効な指導方法を引き続き、学校へ伝えてまいります。
37	現状プラ容器の純リサイクル率はどの程度か知りたい。	ご指摘の純リサイクル率がどのような数値を指し示しているのかはわかりませんが、区ではホームページで分別収集をしたプラスチックの量を公表しています。
38	区でリサイクルで集まった量、実際にリサイクルされた物や現金化された金額などを知りたい。	資源の分別回収量及び売却金額については、区のホームページに掲載しています。
39	飲食店に容器持参で割引、食べ残しは追加料金等、実際に経験すると自分事として認識できる。若者向けにSNSやアプリで発信しても見ない。自分からアクセスしないと目に触れない場所より、普段から行くスーパーや駅、飲食店等を通じて活動を広める事に力を入れるべきではないかと感じる。また、取り組むことで個人にもメリットがあると良いと思う。	実際に体験をしないと自分ごとにならないと考えます。区は区民や事業者が自分ごととしてごみ問題を考えていきつかけとなるような、普及啓発や取り組みについて検討してまいります。
40	プラスチックごみが本当にリサイクルされているか、リサイクル後をわかるようにしてほしい。	集積所で回収したプラスチックは、区内の民間事業者で選別し、再商品化事業者でパレット、擬木などのプラスチック製品や化学原料(炭化水素油)、コークス代替品などに再生利用されています。プラスチックのリサイクルについては、区のホームページでもご紹介していますので、ご理解のうえご協力よろしくお願ひいたします。
41	プラスチックごみは回収後にどのように処理されているか伝わってこない。もっと区民が理解し共感し、関心を持つようなアピール方法を取り入れるべき。	集団回収の実績報告等の手続きについて、従来の紙での申請に加えて、インターネットを介した電子申請ができるようになりました。区民の利用する情報媒体はさまざまであり、個々人によって異なりますので、区では諸手続きの際に電子申請も選択いただけるように進めてまいります。
42	インターネットのインフラを広げ、FAXなどの使用を廃止する。	集団回収の実績報告等の手続きについて、従来の紙での申請に加えて、インターネットを介した電子申請ができるようになりました。区民の利用する情報媒体はさまざまであり、個々人によって異なりますので、区では諸手続きの際に電子申請も選択いただけるように進めてまいります。
43	分別が難しいので、材質や含有率等を指標にした一般的なルールがほしい。	プラスチックや紙類は、リサイクルできるかどうかの分別が難しいことは理解しています。分別の表示については、江東区のみで対応できることではありませんので、わかりやすい表示とするよう国や関連団体に働きかけてまいります。

44	江東区はプラごみの分別意識が低いと感じる。これを改める意識改革を区政が行うことを計画に入れるべき。	令和3年度に実施した組成調査の結果、家庭ごみの燃やすごみの中に、容器包装プラスチックが8.5%混入しています。本計画の重点施策2「プラスチックの資源循環」の「区民の役割と行動」の一項目として、「容器包装プラスチックと発泡スチロール・発泡トレイは正しく分別、排出します。」と明記しております。区民にご協力をいただけるよう、普及啓発に努めてまいります。
45	他区ではごみ処理方法が違う場合があり、転入者にも分かりやすいように図解などで一覧にして周知することが大切である。	区では、分別を分かりやすくするためにイラストを多用した「家庭用資源・ごみ分け方・出し方」を作成しております。かつ、英語・中国語・韓国語版も作成しており、外国籍の区民に、資源・ごみの分別やごみ出しのルールを分かりやすく情報発信してまいります。
46	小型家電など、どのようなものがリサイクルできるかPRすべき。	区施設等に回収ボックスを設置し、有用な金属が含まれる携帯電話、デジタルカメラ、デジタルオーディオプレーヤーなどの小型家電回収を実施し、リサイクルしています。ご協力よろしく願います。
47	現状は「分別して出してください」と言っているだけである。もっと区民が理解し共感し、関心を持つようなアピール方法を取り入れるべき。	区民のライフスタイルはさまざまであり、利用する情報媒体も、個人によって異なりますので、区では多様な媒体を用いた普及啓発に努めてまいります。
48	紙資源をごみに出す人が多いので、政府がCMを使ってごみを減らすようにやればよいと思う。	
49	資源ごみで、雑紙などほとんどの物が出せませんが、知っている人が少ない気がする。具体的な対策は出しているのか？区報などの中だけでは、浸透するのは難しいと思う。	
50	いつも配布される区報はペーパーレスの方向にはいかない。若い人はURLの閲覧などに切り替えても良い。もっと実践的な対策が必要。	
51	ごみ処理やリサイクル処理の現場について、見て、聞いて、学ぶ機会をより積極的に行うことも重要。	江東区では、区立小学校4年生を対象とした環境学習や町会を通じて、清掃関連施設や積極的にリサイクル等に取り組む企業の見学会を実施しています。また、一般向けには、「リサイクル講座」という事業の中で、清掃工場や中央防波堤埋立地等の見学を実施し、ごみ処理に対する意識向上に努めています。
52	食品ロス、資源循環等理念を区民、都民に意識を高めていく手段が必要。夢の島ごみ処理場、埋め立て地の見学等で、区民、都民に更に周知したらごみへの意識が変わるのではないか。	江東区では、町会を通じて、清掃関連施設や積極的にリサイクル等に取り組む企業の見学会を実施しています。また、一般向けには、「リサイクル講座」という事業の中で、清掃工場や中央防波堤埋立地等の見学を実施し、ごみ処理に対する意識向上に努めています。
53	ごみの分け方・出し方の周知・徹底のため、マンションの管理組合及び管理会社等へ強く促す必要がある。	集合住宅の管理組合や管理会社のみならず、単身者用の集合住宅を斡旋する不動産会社などを通じて、ごみの分け方・出し方に関する普及啓発を実施してまいります。
54	多国籍の居住者に分別のルールがわかるように多言語版のパンフレットを作成してほしい(現在の2枚シートのもの)。	江東区では外国人に資源・ごみ出しのルールを伝達するために、資源とごみの分け方・出し方の英語・中国語・韓国語版を作成し、転入してきた外国人に配布しています。また、平成29年度には、3か国対応のスマートフォンアプリを開発し、外国人への周知を行っています。
55	外国人向けに外国語(英語・中国語・韓国語等)での案内が必要である。	
56	分別方法を他国籍の人達にもわかるようにしてほしい。	
第2部第2章 目標値と将来ごみ量		
57	基本指標3の令和13年度の目標値は50%以上にすべき。	第2部第2章第3節に記述したように、数値目標は、各種調査で推計したごみの品目別の割合から、実現可能なごみ減量効果を積み上げて推計しています。発生抑制が進んでリサイクルできる古紙などの発生量が減っていく中で、目標値を50%以上にすることは現実的ではありません。
58	基本指標の中にコスト面での予算・実績管理の仕組みをいれてほしいです。	コストについては、第1部第3章第3節で「ごみ処理・リサイクル事業にかかるコスト」として掲載しておりますので、こちらを参考にしてください。
59	自分自身のごみの排出量が不明である。自分の排出量が見える化し、目標値を認識するために、ごみを量るスケールなどを各世帯に配ると良いと思う。目標値を達成した世帯に優待があると、削減する努力をすと思う。	区でスケールを配布しても有効に使われず、ごみになってしまう危険があります。小さなものであればキッチンスケールで、重いものであれば体重計で測ることができます。ごみの排出状況は世帯によって様々ですので、世帯ごとの測定値で優待をすることは現実的ではないと考えます。
60	第2章のごみ量の推計と目標値1~4について、過去の数値と比較して、何が不足かの項目を入れるとわかりやすいと思う。	第2部第2章第1節で前計画の目標値と実績値の評価を行っており、毎年、目標値と実績値を比較して清掃リサイクル事業の進捗状況を評価してまいります。
61	5Rの実施状況を地区ごとに点数化して(毎月ランダムにチェックするなど)公表し、リサイクル率やごみの少ない地区にインセンティブがある制度があると良い。「社会的に評価されている、見られている」という意識が働かなければ実現性の向上は難しいと感じる。	本計画の目標値は、区全体としてのものです。個々の世帯や事業所別にごみ量・リサイクル量を計測し、把握することは難しいと考えます。区民・事業所へのメリットある仕組みを作るというご提案は参考といたします。
62	「基本計画」の内容は、これまでも一般に行われてきたことではないかと思うが、令和13年度までの数値目標を挙げたところが、今回のポイントなのか。	区では、清掃事業が東京都から移管されて以来、一般廃棄物処理基本計画を策定し、数値目標を設定しています。

第2部第3章 基本方針に基づく具体的な施策

具体的施策		
63	「5R」コンセプトはとても良い。施策を具体的に記載している点も良いと思う。	ご意見ありがとうございます。引き続き清掃リサイクル事業にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。
64	意義を明確にするため、施策を実行した結果に対する期待や想定を明記する。	第2部第1章第5節では、清掃リサイクル事業による温室効果ガス削減効果を記載しています。今後も、清掃リサイクル事業の取り組みが、どのような効果があるのかについて、区民にわかりやすく伝えていく努力をしてまいります。
65	一般廃棄物基本方針としては、問題ないように思いますが、具体的な方法は考えなければいけないと思います。	本計画は、長期的な視点に立った一般廃棄物処理の基本方針となる10年計画です。具体的な施策については「第2部第3章 基本方針に基づく具体的施策」に記載しており、詳細な施策は本計画に基づいて進めていくため、個々の具体的な施策に関する詳細な記述していません。ご理解いただければと思います。
66	方針は立派だが、具体的な施策があいまいである。もっと踏み込んだ施策例を提示すべき。例えば、販売店に「量り売り」を推進し、入れ物は持参するなど取り組みを区で後押ししてほしい。	
67	具体的な施策があまり具体的とは思えない。より具体的な取り組みとすべきと考える。【例】「区民・事業者へのリサイクルの取り組みの促進」として、ごみ集積場にプラスチックリサイクルの基準・必要性について伝えるための目立つパネルを置く。・プラスチックを始めとして、ごみの分別が不完全な事業者、ごみ集積場に対しては厳しい注意喚起(張り紙、レター、電話等)を行い、改善しない場合はペナルティ(罰金、ごみを収集しない等)を課す。	
68	具体的な施策がいまいち分かりにくい。ごみを出さないようにしたいと思っても、ごみが出てしまうのは、社会のシステムの方に問題があるのではと感じる。ほとんどの人がごみを出したくないと思う。	
<b>重点施策 食品ロス</b>		
69	食品ロスの削減はコンビニやスーパーの消費期限・賞味期限食品を捨てずに活用する食料品バンクを作り、無料で生活困窮者に配布する等の活動組織が必要である。	売れ残りや規格外商品をフードバンクに引き渡すよう、食品販売店に働きかけてまいります。
70	スーパー等で期限の迫った食品が廃棄物にならないように、安売りしたり、フードバンク等に送るルートを確認することを義務付けてほしい。	
71	江東区にフードバンクを作って欲しい。	区では、家庭で余った食品の常設回収場所として、フードドライブを区役所の清掃リサイクル課で実施しています。また、株式会社良品計画と「江東区のリサイクル事業等に関する協力協定」を締結し、無印良品東京有明でも実施しています。集めた食品は、主に区内の子ども食堂に提供しています。
72	江東区で集められた「期限切れ」またはそれに近い食品等は、区民住民に分けて欲しい。	区のフードドライブで集めた食品は、主に区内の子ども食堂に提供しています。
73	年金生活等の生活困窮者が、食費を削るケースが多発し、支援に困っている。リサイクル係で企業から集めている食べ物を江東区民で困っている人に配布して欲しい。区内の生活困窮者支援にもつながると思う。	
74	区で集めたまだ食べられる物を区民の生活に困っている人たちに提供して欲しい。	
75	フードドライブについて、持ち込まれた食品は、区内で食に困っている人に提供できるようにし、区外に出さないで欲しい。	
76	フードドライブ実施について、区内の事業所で災害協定を結んでいる企業にも説明を行うことで、余っているものを提供してもらえるのではないかと。	災害備蓄用等で余っている食品についてはフードバンクに引き渡すよう、事業者にも働きかけてまいります。
77	小売店での食品ロスを減らすために、消費期限が短いものは早めに値引きを行うなどする。こういうところに公費を使ってほしい。	消費期限の短いものは値引きをすることは、食品ロスを減らすための重要な取り組みであると考えますが、公費での負担は考えていません。
78	食品ロスの削減に関しては、家庭での努力も必要だが、事業者に対して強く周知する必要があると考える。	食べきり協力店の拡充やフードシェアリングアプリ等の活用など、事業者への働きかけも実施してまいります。
79	食べきり協力店の登録要件は厳しくないため、団体を通じて48より増えるようにしていく必要がある。	食べきり登録店増加のため、更なる普及啓発に努めます。
80	区内の飲食店でのドギーバッグの利用を増やす。	食べ残しの削減に取り組んでいる飲食店には、食べきり登録店に登録していただき、ドギーバッグ等の普及に努めます。
<b>重点施策 プラスチック</b>		
81	食料品のプラ容器のリサイクルが進んでいない。商品を買った人はプラ容器からラベルをはがすことを義務付ける。	区では、「資源・ごみの分け方・出し方」で、簡単にはがせるシール類ははがしていただくようお願いしています。ご協力よろしくお願いいたします。
82	区の郵便物で宛先部分がビニール製の封筒を廃止してほしい。	区においても、「チーム江東・環境配慮推進計画」に基づいて、プラスチックごみの削減に取り組んでまいります。
83	区からの窓付き封筒での郵便は、分別が手間なので窓部分を紙としてほしい。	
84	プラごみや食品ロス、5Rなど、今しなくてはいけない最重要課題かと思う。プラごみはなくすことは難しく、処理することも現状はマイクロプラスチックなど処理しきれない状況かと思う。	ご指摘のとおり、プラスチックは生活に密着しており、すぐにすべてなくすことは現実的ではありません。一方で、過剰包装に見られるように、本当に必要かどうか疑問なプラスチックもたくさんあると考えられます。これらの、不要なプラスチックを一人ひとりの努力で減らしていくことが大切と考えます。

85	プラスチックごみは最近増加していて、リフューズ、リデュースを進めることが重要になります。	ご指摘のように、ごみ減量の基本はリフューズ、リデュース、リユース、リペアの4Rです。区は、リサイクルに先駆けて4Rを推進します。
86	デポジット制(ペットボトルやトレイを返却するとお金が戻る)の検討。	デポジット制度については、ごみ減量に効果があると考えていますが、江東区のみでの導入はできませんので、国や関連団体に働きかけてまいります。
87	プラスチックごみの削減に関しては、昨今の情勢からもプラスチックの使用量削減が叫ばれ、この基本計画にも反映されるのは良いことである。ただし、可燃ごみは「中身の見える袋で出すこと」が指定されている。これはビニール袋を指すと考えられ、重点施策と矛盾するのではないか。	中身の見えない袋でごみを出すと、収集するときに中身が確認できないため、収集作業員の怪我や清掃車の火災などの原因となってしまう。そのため、中身の見える袋での排出をお願いしています。ごみはポリ容器で出すことも可能ですので、ご検討いただければと思います。
88	プラスチックごみの発生抑制は、区では無理ではないか。条例などによる罰則付きの徹底が必要と思う。	プラスチックごみの発生抑制には、製造・販売事業者が無駄なものを作らない、売らないことが重要です。国は、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を令和4年4月に施行する予定です。区では、この法律の進捗状況を見て、国や関連団体に働きかけてまいります。
89	プラスチック削減運動は、結局ごみを捨てるのにビニール袋を購入するため意味がない感じがする。	プラスチックは便利であり、生活に欠かせないものとなっています。反面、過剰包装など生活に不便さを及ぼさずに削減できるプラスチックもあります。
90	コンビニもプラスチックごみを減らしてほしい	計画の基本理念である「持続可能な資源循環型地域社会の形成」を実現するためには、区民の努力だけでなく、製品を製造し、販売する事業者の努力も必要です。区は、製造・販売事業者に対して、ごみにならない製品の工夫、リサイクルしやすい製品の工夫、販売したものの回収を求めています。
91	コンビニやスーパーで惣菜のプラスチックケースや肉のトレイなど無駄な包装をやめる。	
92	ラベルの接着(粘着)強度:ラベルの引き裂き強度は後者を大としなければならない。	
リデュース		
93	生ごみ処理機購入の助成金制度を検討してほしい。	区では、生ごみ堆肥化資器材のあっせんを行っており、電気式生ごみ処理機の補助も検討します。毎年、区民150世帯にキエーロ・段ボールコンポスト・EM堆肥化・森のしくみの4種の中から1つ選んでもらい、資器材を貸与する事業を実施しています。
94	コンポスト用の促進剤費用の補助を検討してほしい。	
95	生ごみや食品ロスはコンポスト化と回収、利用すべき。そのための助成や仕組みづくりを進める。	
96	コンポストを躊躇する人が多いと思われる。区役所などで、コンポストの見学会(オンラインも含めて)を行い、簡単に導入できることを周知してほしい。	
97	役所の紙ベース書類を1/3位にする。	
98	家庭でごみを減らすことのできる家電や機械を購入する際の補助金を検討してほしい。	区では、令和4年度から新たに家庭用電動式生ごみ処理機の助成金を予算措置しました。
99	生ごみ処理機(乾燥)購入費用助成を早期に実現して欲しい。	
100	大型マンションなど、管理組合や運営委員会からの連絡のペーパーレス化を進める。	ご指摘のとおり、一人ひとりの小さな積み重ねが大切と考えます。
101	物の品質と価格を上げて、長年使える物の割合を増やす。	少し高くても品質の良いものを長期間、大切に使用することは重要と考えます。
102	生ごみ専用のごみ箱を作り、肥料にして野菜を作り、地産地消する。	生ごみの分別収集は、一部の地方都市で実施されていますが、都市部である江東区では困難と考えています。
103	具体的施策の一つとして、生ごみだけを収集して行政にて堆肥化する取り組みを検討してほしい。(少なくとも海外では行なっている例あり。)個人によるコンポストはその手前から浸透がとても難しい。生ごみの堆肥化は廃棄物処理に使うエネルギーを格段に減らすことができ、環境課題への貢献が非常に大きい。	
104	スーパーなどの薄いビニールやレストランの紙ナプキン、ストロー等は、「断る」ことよりも、提供がオプションとなる指導をしてほしい。	令和2年にレジ袋が有料化され、販売店でレジ袋が必要かどうかが聞かれるようになりました。同じように、紙ナプキンやストロー等についても、消費者が希望する場合のみ配布することは必要なことと考えます。
105	生ごみ処理機購入の補助金を出してください。	燃やすごみの約40%は生ごみが占めています。区では、「生ごみ減量事業」を実施し、まずは、「食品を必要な分を購入すること」「食べる分だけ作ること」「食べ残しをしないこと」「水切りを行うこと」の4点を行うことで、生ごみを減らすことに努めてもらっています。それでも出てしまった生ごみは、堆肥化や消滅化を行う4つの取組みを推進しています。この事業の他、区では家庭用生ごみ処理機の斡旋を行っています。
リユース		
106	リサイクルしたいものを出したり、使ったり、もっと気楽にリサイクルできるような場を江東区で作ってほしい。	区がリサイクルショップを運営することは様々なコスト面から困難と考えます。区では、区内の民間のリサイクルショップ情報をホームページで案内しております。
107	いらなくなったものを何時でも安く売る場所は区で設置してほしい。従業員はボランティアかお弁当代でお願いできる人。半年経っても売れなかったら廃棄処分する。	区で行うには、展示スペースの確保や、運営経費などの費用対効果を踏まえると実施は困難と考えます。

108	リサイクルショップはブランド中心です。ブランド品以外を取り扱う窓口はないのでしょうか。	区では、区内の民間のリサイクルショップ情報をホームページで案内しております。リサイクルショップによって取り扱える品が異なるため、各ショップにお問い合わせいただくことをお勧めします。
109	粗大ごみを減らすため、行政は業者に補助金を出してでも、修理して利用できるものは生かして欲しい。	ご指摘のように、粗大ごみを減らすためには、民間事業者の活用が不可欠です。区では、リサイクルショップやフリーマーケットに関する情報提供、修理・修繕取扱店一覧などホームページ等を活用し、リペア(修理)に関する情報を提供します。
110	家の中にあるリサイクル可能な物、和服、せともの、皮製品等を回収してほしい。	ごみ減量への効果はあると考えますが、区が和服、せともの、皮製品等を再利用するために回収し、他の方に提供することは困難です。再利用のためにはお近くのリサイクルショップのご利用などをお勧めします。
111	靴の回収をして欲しい。	回収した靴の再利用先を探すことが困難であることから、実施はできません。
112	ごみ回収と同様に、月一日でも良いので不用品回収に来てほしい。	集積所での分別回収や回収拠点を増やすためにはコストがかかりますので、品目別に費用対効果を考慮して、状況に応じて拡大を検討します。
113	ほしい人が安価で購入できるよう、再利用できるものを持ち込む場所を作ってほしい。運営は高齢者がボランティアでできると思う。	清掃事務所が粗大ごみとして収集したものの中から、修理等によって使用可能なものを環境フェアなどで区民に廉価で提供する「いかせる粗大ごみ作戦」事業を実施しています。
114	引っ越し時に出る粗大ごみを再利用できるようにし、安く販売してほしい。	
115	家具をリサイクルして販売する企画をしてほしい。企画があれば家具のリサイクルに参加したい。	
116	状態の良い家具が粗大ごみとして捨てられている。同じ区に住んでいる人が家具を譲り合える仕組みを作って欲しい。	
117	区役所や自宅の近所等で、植木鉢の回収、リサイクル家具や電気製品の交換をやって欲しい。	
118	リサイクルできるものがあるても出し場がないとか、持って行き場がないので、ごみにするしかない。リサイクルの場を提供してほしい。	
119	リサイクル品を区が取りに来て、その品物を区が運営するリサイクルショップで販売するような仕組みを作って欲しい。	
120	千葉県浦安市(舞浜)のピーナスプラザを参考にして、商業施設で自転車や家具のリユース、リペアをして販売したり、日用品の持ち込み販売ができる取り組みをしてほしい。	
121	区で、まだ使える物を無料もしくは安価で譲り合える仕組みを検討してほしい。	
122	豊洲は子供も多いし、ベビー用品など数年しか使わないけれど大型や粗大ごみになるものがたくさんあるので、区役所に「あげます」「下さい」を気軽に書いて貼れる掲示板などを設置し、家具や自転車、家電等を譲り合える制度を検討してほしい。	
123	フリーマーケットも豊洲エリアでやってほしいです。	不用品交換は、リペア・リユースに対し有効な手段と考えます。しかし、それを区で行なうには、展示スペースの確保や、運営経費などの費用対効果を踏まえると実施は困難と考えます。
124	古着回収BOXを設置してほしい。	
125	ごみ収集日に「衣類回収の日」を作って欲しい。	
126	洋服(新品の肌着、洗濯済みの物(新品同様)の物等)をリサイクルに出したいのだが、月1回で良いので回収してほしい。	
127	洋服などのごみ収集を増やしてほしい。	
<b>リサイクル</b>		
128	土のリサイクルが出来るようにしてほしい。	土は、ごみではないため区では回収を行っておりません。しかし、一定の要望があることから、環境フェアでのみ回収を行っております。土を処分する場合は、有料にはなりますが、専門業者に直接ご依頼ください。
129	有料対応を含めて、「土」の廃棄(リサイクル)も対応してほしい。	
130	カン、ビン、雑誌、新聞以外に、紙パック等の回収箱を設けたら良い。	
131	家電リサイクル品のメーカー指定の引き取り場所への持ち込みができなくなったのは何故ですか？	平成21年10月から、メーカーの指定引き取り場所の共有化が実現し、全てのメーカーの引き取りが可能になりました。家電リサイクル法対象品の処分については、区内の指定引取場所の情報を含めて区のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。
132	リサイクルによって、かえってごみの排出量が増えているのではないか。	目指すべき循環型地域社会は、大量消費・大量リサイクルではなく、必要なものを消費する適量消費が前提です。江東区では、リフューズ、リデュース、リユース、リペアの4Rによるごみの発生抑制を基本として、施策を推進します。
<b>リペア</b>		
133	修理代を安くして、直して使うようにする。	江東区シルバー人材センターでは、自転車のリペアや包丁の研ぎ直しなどさまざまな事業を実施しています。また、区のホームページにおいて、リペア(修理)・リサイクルショップ情報を掲載しています。

適正処理		
134	重点施策1、2に掲げられている事案について、23区内唯一のごみ処理施設を有する江東区が先行して推進していくべき。行政だけでなく、民間企業とも連携を強化して行えば問題解決につながると思われる。	23区唯一ではありませんが、最大のごみ処理施設を有している江東区としては、率先して、循環型地域社会の実現に取り組んでまいります。
135	リサイクルに対してポイント制などを取り入れてはどうか。住民が考えるようになり教育にもなるのでは。	具体的なアイデアありがとうございます。区が分別回収する資源について、誰がどのくらい出したかを管理するのは困難であり、実施は困難です。
136	カラス対策を考えてほしい。ごみ袋を2〜3枚重ねると少し軽減されるのではないか。	区では、ごみ散乱防止用のネットの貸し出しを行っています。しかし、それだけでは鳥獣によるごみの散乱は防げませんので、ごみを排出する際には生ごみが外から見えないようにするなど、排出の工夫をお願いします。
137	新聞と雑誌を仕分けし資源として出しているが、新聞を持ち去りが続いている。区として対応を考えてほしい。区役所や出張所に集荷場所を設置してくれれば持参する。	区役所や出張所に古紙の集積所を設置することは、スペースや、管理などを踏まえると困難と考えます。区では、資源抜き取り対策/パトロールを早朝から実施しており、一連の様子をビデオ撮影するなど対策を強化してまいります。
138	いつも回収ありがとうございます。個人でできる範囲で削減分別していきます。	ご協力ありがとうございます。引き続き清掃リサイクル事業へのご協力よろしくお願いたします。
139	リサイクルの要は、家庭・事業者排出時の分別と回収である。	ご指摘のとおりです。引き続き清掃リサイクル事業にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。
140	インクカートリッジ、牛乳パック、衣類などの資源ごみを区が定期的に回収するようにしてほしい。	集積所で資源を回収するためには、コストがかかります。牛乳パックについては、資源の日に、古紙の雑がみとしてお出ください。ご指摘のインクカートリッジ、古着については、引き続き、拠点回収または販売店の店頭回収をご利用くださいますようお願いいたします。
141	集団回収の事務手続きの簡素化の検討で、利用する町会・自治会を増やすことは、この事業の推進の一助になるのではないか。	集団回収の実績報告等の手続きについて、従来の紙での申請に加えて、インターネットを介した電子申請ができるようになりました。今後も、事務手続きの簡素化を検討してまいります。
142	自然エネルギーへのニーズの高まりに伴って、例えば太陽光パネルの産廃の方法や、ルートを今後に備えて明確化し、登録業者は審査の上HPで可視化する。市民が安心して処理金額の正当性、業者の選択を確認できることは重要になってくると思う。また、中古品のリサイクル制度を確立し、災害用にマンションの屋上に安く斡旋するなど検討してほしい。	太陽光パネルの処理方法については、「東京都使用済太陽光発電設備リサイクル検討会」において検討を進めているところです。これらの結果を踏まえて、基礎的自治体として区ができる施策を実施してまいります。
143	家庭から出せるごみの種類を増やしてほしい(例えば電池、古着回収などもしてほしい)	電池は燃やさないごみの日に他の燃やさないごみとは分けて、「水銀を含む製品等」として集積所にお出ください。古着回収は、集積所での分別回収を行うためにはコストがかかります。そのため、古着の回収については、現状の回収を継続し、状況に応じて拡大を検討します。
144	コロナでごみが増えるし、生ごみも生ごみ専用で回収してほしい。	生ごみの分別収集は、一部の地方都市で実施されていますが、都市部である江東区では現状困難と考えています。
145	生ごみ等は燃やすときに出る煙や排気筒管(横に長くなる)の上に乗せて乾燥させてから燃やす。	生ごみを前処理で乾燥させるような焼却施設は現状ではありません。清掃工場で発生する熱は発電や温水供給に活用していますので、熱は有効に利用されています。
146	フードドライブの常設回収場所を増やす必要がある。	フードバンクは、区内常設回収場所として、区役所の清掃リサイクル課で実施しています。また、株式会社良品計画と「江東区のリサイクル事業等に関する協力協定」を締結し、無印良品東京有明で実施しています。回収場所の拡張に向けた検討を進めてまいります。
147	海洋ごみ予備軍の埠頭エリアのビニールやプラスチックごみのポイ捨ての定期的な視察、罰金の設置、NPOなどの撤去団体への補助金などを実施しても良いと思う。区の境界が曖昧な場もあるので東京都と協働にして良い。	不法投棄への対応については、東京都、河川の流域自治体、関連NPOなどと協議して対策を検討してまいります。
148	ごみを燃焼させるのにプラスチックがあると燃えやすくなるのでは？	プラスチックは燃焼カロリーが高いため、プラスチックが入っているとごみが燃えやすくなります。清掃工場は、一定のプラスチックが混入することを前提として設計されていますので、それより多いプラスチックが入ってしまうと、焼却炉を痛めるなどの問題が生じてしまいます。
149	不要になった衣類等は一般ごみの集積所に出せるようにしてほしい。	古着をリサイクルするため、江東区清掃事務所及び無印良品東京有明で常設の拠点回収や巡回回収を行っています。回収された古着は、回収業者に引き渡し、リユース・リサイクル行程により、国内・海外で再利用されます。また、再利用できないものは、工業用雑巾(ウエス)の加工や、綿やフェルトの原料になります。衣類については、需要に限られており、拡大が困難な状況です。また、集積所での分別回収を行うためにはコストがかかります。そのため、衣類の回収については、現状の回収を継続し、状況に応じて拡大を検討します。
150	街にごみ箱を増やしてほしい	放火等、防犯上の観点から、公園等にごみ箱は設置しておりません。各自、ごみのお持ち帰りをお願いしております。今後もマナー向上に努めてまいります。

151	ボタン電池とモバイルバッテリーの回収が分かりづらい。回収場所を増やしてほしい。	ボタン電池及びモバイルバッテリーは、燃やさないごみの日に他の燃やさないごみとは分けて、「水銀を含む製品等」として集積所にお出しください。
152	基本方針3について、プラスチックは生ごみと一緒に出した場合は回収しないことを、義務化(法律化できないか?)して欲しい。	容器包装プラスチックの分別収集を実施していますが、汚れの落ちない容器包装プラスチックは燃やすごみとして収集しています。そのため、燃やすごみに容器包装プラスチックが排出された場合に、回収せずに取り残すことは考えていません。
153	中がアルミのテトラパック(豆乳など)も回収してくれる場所が増えて欲しい。または回収場所を簡単に探せるシステムを希望。	回収拠点を実施するにはコストがかかります。また、回収してもリサイクルできなければ意味がありません。品目別に費用対効果を考慮して、状況に応じて拡大を検討します。
154	資源ごみの窃盗も取り締まってほしい。早朝からその缶やペットボトルの音がうるさく思う。	区では、資源抜き取り対策パトロールを早朝から実施しており、一連の様子をビデオ撮影するなど対策を強化してまいります。
155	集団回収は区と同じものを回収する意味があるのか。報奨金が出るとはいえ手間や負担感が上回るのでは。	集団回収は、住民団体と資源回収業者の民間の取引であり、最も望ましいリサイクルの方法と考えています。区が報奨金を支給することにより、リサイクル活動の一層の発展に寄与し、ごみ問題に関する区民の意識の啓発を図っています。
156	大型ごみ(辺30cm以上)の設定サイズは非現実的である。	大型ごみは、清掃工場の炉に詰まってしまう可能性があるため、30cmを超えるものは粗大ごみとしております。ご理解とご協力をお願いいたします。
157	粗大ごみを直接ごみ処理工場に自力搬入できないのは何故ですか？	粗大ごみの持込については、手続きや搬入に伴う車両の混雑、大型重機の処理作業による一般車両の安全確保の困難から実施しておりません。ご理解くださいますようお願いいたします。
158	粗大ごみなどの手数料が複雑なうえに、1~2か月待ちが当たり前である。ごみなので出来る限り早く回収できるように行政側の改善を求める。	粗大ごみは、品目によって400円、800円、1,200円、2,000円、2,800円の5段階の料金設定をしております。粗大ごみの収集には、お申込みから回収まで一か月程度お時間をいただいております。年末や年度末などお申込みが集中する場合や、新型コロナウイルス感染症の影響により、さらにお時間がかかることもありご迷惑をおかけしております。ご理解とご協力をお願いいたします。
有料化		
159	増税してもごみ処理問題を解決すべき。反対意見は聞くべきでない。	家庭ごみの有料化については、経済的な負担を伴うことから区民の理解と協力を得ることが大変重要であると考えています。導入の是非等については、区民のご意見を聴きながら、慎重に検討してまいります。
160	食品ロスの削減には、将来的に収集の有料化が検討課題になると思う。	
161	分別されていないごみは収集しないと置き去りだが、出した人は取りに来ない。ごみ袋の有料化を検討してはどうか。	
162	ものを捨てることを有料化するシステム導入を考えるべき。手始めにペットボトル、びん、缶を有料にする。日野市は有料化している。	
163	同じ日の区報にある「災害廃棄物処理計画」には「公費を用いて処理を行う」と明記されていましたが、区報を見るかぎり、一般廃棄物処理基本計画については、「公費」と明示的には書かれていない。家庭ごみの公費での処理は今後も粗大ごみを除き無料が維持されるのか。一市民としてまた納税者としては、今後も無料で処理していただけるよう強く望む。	
164	ごみ処理にお金がかかるのは当然。ごみ収集を有料にしてはどうか。45L指定ごみ袋1枚100円など。消費者がごみの少ない商品(包装紙などが少ない)を選ぶようになれば、企業もごみが少ない商品売るのはないか。	
技術開発		
165	石油は大事な資源である。再液化による燃料化の研究に取り組むことも大事である。	プラスチックから油をつくる油化技術が民間事業者によって開発されており、区としては開発状況に注視してまいります。
166	区報の紙面を見ると、油系で生まれたものが半数以上と思われる。製造する時の原料に戻せれば少なくなるのでは。	
167	資源循環を静脈産業として育てる。リタイア後のシニアの活用、IT、AI、ロボットの活用、女性の活用を検討する。	東京都資源循環・廃棄物処理計画では、健全で信頼される静脈ビジネスの発展を推進しています。区は基礎的自治体として関与できる部分について、東京都に協力してまいります。
168	焼却後の灰のリサイクルの技術開発はできないか。	江東区のごみを処理している東京二十三区清掃一部事務組合では、焼却灰の資源化事業を実施しており、セメント原料化や徐冷スラグ化を行っています。さらに焼成砂化も開始しています。
169	焼却処理できないものは、固形燃料化して再利用するなどできないか。	区では、平成27年度から不燃ごみ資源化事業を実施しており、不燃ごみは民間事業者へ委託して固形燃料化しております。



計画書全体に対するご意見		
170	ごみの発生量を数値(g)で示されても実感がわかないので、具体的な生活習慣を示すべき。	コラム「～どれくらいごみ減量すればよい?～」にて、ごみ減量目標値をイメージしやすくするために、割りばし、紙、お菓子の袋、生ごみについて各重量を記載しております。減量目標を分かりやすく伝える努力をまいります。また、第2部第3章の各重点施策及び各基本方針の中で「区民の役割と行動」を記載しておりますので、ごみを減量するための生活習慣の参考にしてください。
171	すばらしい取り組みでありありがとうございます。施行の際はもう少しわかりやすくしてほしい。	各施策を実施する際には、わかりやすく伝えられるよう工夫してまいります。
172	ごみの減量、無駄をなくし、自然を守る、優しい地球、安全・安心を未来につなげていく。	ご指摘ありがとうございます。関係部署と連携して、ごみ減量のみならず、さまざまな環境問題に取り組んでいく所存です。
173	公園に廃棄物が置かれないうに対策していただいた。意見に対応していただき、感謝している。	
174	江東区の一般廃棄物の減量リデュース、再利用リユース対策促進方針に賛成し、取り組みに敬意を表す。	ありがとうございます。今後も引き続き清掃リサイクル事業へのご協力よろしくお願いたします。
175	このように考える機会を下さり、ありがとうございます。	
その他		
176	積極的なリサイクルのため、広大な埋め立て地という江東区としての利点を生かしてほしい。多量のごみと広大な空き地を有効に使える。資金をクラウドファンディングで集め、養豚場や養魚場の誘致して活用してもよい。食品ロスを飼料にする。株券のようなものを発効し、生育後の出荷の利益を分配する。	食品ロスについては、それを活用することよりも、それを発生させないことが重要であると考えています。いただいたご意見は参考といたします。
177	清掃リサイクルの歳入と歳出の割合が異常。手数料収入を上げるべきではないか。人件費削減による歳出を減らすのではなく、清掃リサイクル事業の収入増加、賃金増加を基本計画に入れるべきだと考える。	清掃事業は行政の基礎的なサービスであり、清掃事業の歳入だけで歳出を賅うわけではありません。しかし、その原資は税金であることから、歳入を増やし、歳出を減らす努力が必要と考えています。